

IRカット率 99.3% ガラスフィルム DY6599

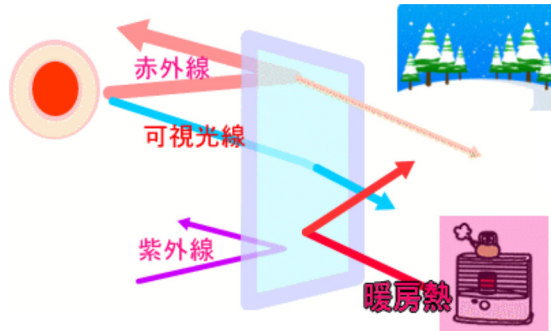
可視光線のみを選択的に透過させ、IRの殆どをカットするフィルムです。

IRカット率99.9%の従来品SL999は、日射吸収率が高く、建物ガラス用には不向きでした。

DY6599は、SL999の日射吸収率を大幅に改善したグレードです。
IRカット率99% 日射吸収率 44.9%
建物ガラスにも貼ることが出来るようになりました。

夏は、日射熱を47%も抑え(遮へい係数0.53) 冷房効果を高めます。

透明度約66.1%は、実用上透明に近いレベル。
冬は、日中日差しを室内に取り入れ、夜は暖房熱を室内側に反射させ、暖房効果を高めます。



冬期省エネ・節電のポイント

- 透明度が高い
- IR反射率が高い
- 熱貫流率が低い

可視光線に含まれる日射熱の割合は54% (JIS-A5759 日射熱重畳係数より)

DY6599に環境省環境技術実証事業 ETV実証番号が付与されています

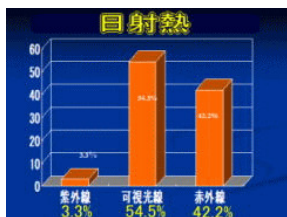
環境技術実証事業

ETV 環境省

ヒートアイランド対策技術分野 実証番号 051-1209

第三者機関が実証した(実証年度 H24) 性能を公開しています。 www.env.go.jp/policy/etv

本ロゴマークは、その基準に適合していることを証明したものであります。



フィルムの遮熱効果を決めるには赤外線カットが最重要です

DY6599 特性表(建材試験センターJIS試験結果)	
IRカット率 99.3%	シールド色ブルー系 微光沢反射専用と建物用の双方で、世界の注目を集めています。
遮蔽係数 0.53	透明ガラスに比べ、日射熱の47%をカットすることを表しています。
可視光線透過率% 66.1 可視光線反射率15.5	透明に近く、日中、内から外は良く見え、外からは殆ど見えません。夜は内に照明があると外から見えてしまいます。
日射透過率% 32.4	透過する日射の殆どが可視光線であり、UV及びIRを多く遮断しています
日射反射率% 22.7	IRを多く反射させています
日射吸収率% 44.9	IRカット率99%で、日射吸収率を下げ、建物ガラスにも貼れるようになりました。しかし未だ高めです。
紫外線遮断率 99.3%	UVはほぼ完璧に遮断します。
遮蔽係数 0.53	この透明度では非常に高い遮熱性能を表しています。
熱貫流率 5.8 W/m ² K	赤外線を反射させるため、冬季も熱原の種類により驚異的な省エネ性能をもたらします。
ハードコート有り	ハードコート付きです
ロールサイズ: 1524mm幅 x 30M	

DY6599 分光透過率曲線

可視光線を選択的に透過させ、UVをほぼ完璧にカット

赤外線領域の分光反射率を極限まで高めています

室内に流入した可視光線は、反射してその多くは赤外線になります。DY6599は、赤外線の殆どを室内に反射させます。

冬の暖房熱を室内に反射し、絶大な省エネ効果をもたらします。

Nexfil社Dynasty6599 開発のポイント
Nexfil社は「特殊金属ナノセラミックスマルチレイヤースパッタリング」によると説明しています。

